

県議会 おおいた

No.126

大分県議会
令和4年6月発行

へつぎももか

題字は、大分県立中津北高等学校3年 戸次 李歌さんの作品です。



3月2日（水）に大分県聴覚障害者協会の加藤順子さん、渡邊香月さんを講師に、本会議場で手話講座を開催しました。

昨年3月に議員提案条例である手話言語条例が全会一致で可決され、令和3年第4回定例会からはケーブルテレビ及びインターネット中継にて手話通訳を導入しています。

目次

- 令和4年第1回定例会 2
- 新たに構成された委員会 7
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会、
政策検討協議会、議員定数調査会 8
- 議員フォーカス 9
- トピックス・県議会今後の動き 10

令和4年第1回 定例会

2月24日から3月25日までの30日間、開催しました。

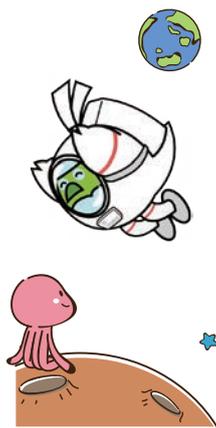
開会後、御手洗議長による諸般の報告に続き、令和4年度大分県一般会計予算案等の議案が提出され、知事が提案理由を説明しました。

3月3日から2日間にわたり行われた代表質問には3人の議員が3月7日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、執行部と活発な議論を行いました。9日には、11年前に発生した東日本大震災の犠牲者の方々に対し黙とうを行いました。

また、予算特別委員会を設置し、令和4年度予算について審議を行いました。

3月2日、17日、18日に開催された各常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案57件、議員提出議案3件、委員会提出議案2件について可決・承認・同意し、閉会しました。



代表質問

3月3日(木)



自由民主党
みつうら まさひろ
三浦 正臣 議員

県経済の再活性化

問 ウィズコロナの世界も見えてきており、今年こそ県経済の活性化と県民所得向上の取組を加速すべきと考えます。

現況の県経済をどう分析し、県経済の再活性化に向けて、中小企業や観光業の支援と個人消費の回復についてどのように考えているのか、知事の見解を伺います。

答 コロナ禍が長期化する中、経済への打撃は最小限に止まってきましたが、第6波により観光や個人消費の動きは再び弱まっています。

そのため、まず、飲食店への営業時間短縮要請協力を迅速に支給し、加えて、打撃を受けた事業者に国の事業復活支援金の活用を促します。また、「新しいおおいの旅割」やプレミアム商品券事業により、消費を盛り上げます。

さらに中長期的な視点から、経営体質強化、生産性向上の取組など、社会経済の再起動、成長に向けた局面転換を実現していきます。

スペースポートが

もたらす本県への影響

問 県民の中には、大分空港のスペースポート化によって、自分たちに何が還元されるのか今一つわからないという声もあります。この事業への県の期待、産業や人材の育成方針について、知事の見解を伺います。

答 本県は、「宇宙港を通じ、アジアにおける宇宙ビジネスの中核拠点となることで、日本を含むアジアの企業や人々に、地球を越えた新たなビジネスや暮らしの選択肢を提供する」というビジョンを掲げること、県経済の活性化につながる国内外の企業との連携が可能になると考え、取組を進めています。

また、宇宙企業とのマッチングや人材育成支援により、宇宙利用を進める県内企業の挑戦を後押しします。

教育分野においては、宇宙港の取組を進める英国の学校と国東高校の国際交流も始まりました。

世界に目を向け、ビジョンの共有を通じた価値創造、未来を担う人材育成を進めていきます。



三浦議員のこのほかの質問については下記から動画をご覧ください。

3月4日(金)



県民クラブ
もりなごき のぶゆき
守永 信幸 議員

地方創生

問 昨年11月に公表された2020年国勢調査の確報値によると、全市町村の人口が減少する事態となっています。

大分県人口ビジョンの想定よりも人口の減少幅が大きくなっていることを踏まえると、より強力な取組を推進する必要があると考えます。地方創生にどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺います。

答 人口減少に歯止めをかけ、人を育て、仕事をつくり、人と仕事の好循環で地域を活性化させる。大分県版地方創生を加速前進させなければなりません。

まずは、人づくりです。出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援に全力を傾けます。

人の受け皿となる仕事づくりも大事です。新産業の創出やデジタル人材の育成、農林水産業では、儲かる産業へと成長させることで、新規就業者を呼び込みます。

県と市町村が互いに手を携えて、夢と希望あふれる大分県を実現していきます。

南海トラフ地震臨時情報 に関する県の対応

問 気象庁は、南海トラフ地震の想定震源域内でマグニチュード6.8以上の地震が起きた場合、「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」を発表して南海トラフ地震につながるか調査することとなっています。

答 県では、臨時情報の発表にどのように対応し、県民に周知することになっているのか伺います。

県では、南海トラフ地震が発生し、臨時情報が発表された場合、災害警戒本部を設置し、情報収集を開始します。その後、大地震警戒の臨時情報が発表された場合には、事前避難対象地域の方々には避難を求め、それ以外の方々に対しては冷静な対応や津波への備えを再確認し、いつでも避難できるように呼びかけます。

さらに、住民が円滑に避難できるように関係機関と調整し、市町村を支援します。

こうした対応について、リーフレットの配布や啓発動画の公開により、平時から理解を深めてもらうよう取り組んでいます。

守永議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。




公明党
かわの
河野 成司 議員

「こども」に関する政策パッケージ

問 コロナ禍で深刻化した少子化や虐待等の課題への対応のために政府が策定した「こどもに関する政策パッケージ」に連動して、本県の戦略である「おおいた子ども・子育て支援プラン第4期計画」の見直しも視野に、どのような方向で県の取組との整合を図るのか、またそのスケジュールについても知事の見解を伺います。

答 令和2年3月に策定した第4期おおいた子ども・子育て応援プランの理念や各施策の柱は、政府の「こどもに関する政策パッケージ」と軌を一にしています。このため、計画策定時に想定していなかった事業についても、取り入れるべきものは、今議会上程の当初予算案にも反映させています。さらに、国は「こども家庭庁」の創設により、年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的支援を実現するとしています。本県は組織にとらわれず、国に先んじて取り組んでいきます。

今後とも、国の動きなどを注視し、子育て満足度日本一の実現に努めていきます。

河野議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



県営住宅戸数の削減方針

問 県は、県営住宅の適切な維持管理やライフサイクルコストの削減に関する方針を定めた「大分県公営住宅等長寿命化計画」の改定案をまとめ、2031年度までに県営住宅の管理戸数を約千戸減じる方針としています。

答 公営住宅の設置目的に照らして、入居希望者の声はどのように反映しているのでしょうか。併せて10年間で既存県営住宅を10%以上削減するという今回の改定案に対する、県民意見募集にはどのような声が寄せられているのか伺います。

答 マスタープランでは国の示す方法により2040年時点の公営住宅戸数を算定し、それをもとに長寿命化計画における10年後の目標戸数を定めました。今回の県民意見募集では、戸数削減に対する意見はありませんでしたが、老朽化対策の推進及び設備水準の向上を求めるご意見をいただいています。

今後ともこうしたご意見をはじめ、県民ニーズや社会情勢の変化、法の趣旨を十分に踏まえながら、計画的に住宅整備を進めていきます。

一般質問

3月7日(金)



県民クラブ
ふじた
藤田 正道 議員

移動手段における カーボンニュートラル

問 「第5期大分県地球温暖化対策実行計画」では、「移動手段の転換の促進」などを柱とした二酸化炭素排出削減対策を推進するとしています。

答 計画に掲げる移動手段の転換促進に向けた取組の現状と今後の具体的な取組について伺います。

答 「移動手段の転換の促進」の具体的な取組として、次の三つを行っています。

- 一つは、平成20年から続くノーマイカーウィークの取組です。
- 二つは、エコ通勤割引制度の普及促進です。
- 三つは、感染症対策に関するバス会社の支援等による公共交通機関を利用しやすい環境づくりです。

公共交通機関への移動手段転換は、高齢者の移動手段確保のためにも重要であり、より実効性ある取組を目指します。

藤田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





自由民主党
森 誠一 議員

地域の医師確保

問 二次医療圏の医師数は中部と東部以外は全国平均に及ばず、地域の偏在は正にもう一步踏み込む必要があります。特に、救急医については、しっかり取り組んでいただきたいと考えています。

答 医師の地域間の偏在は正を含め、今後の医師確保に向けた政策について、知事の見解を伺います。

まず、地域医療を支える医師の偏在を解消に向けて、次の対策に力を入れていきます。

まずは、地域医療を志す医師の養成です。自治医科大学の定員に加え、大分大学医学部に地域枠を設け、地域の中核病院などで勤務する医師を養成しています。

次に、救急医の確保については、令和4年度から、医師研修資金貸付制度の対象に救急科を追加し、救急医の育成に急ぎ取り組みます。加えて、県外からの即戦力医師の確保のため、県出身医師などに對して、定期的に求人情報を提供していきます。



森議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



日本共産党
猿渡 久子 議員

中小業者への支援策の強化

問 コロナ禍で経営状況に苦しみながらも頑張ってきた中小零細事業者の支援強化のため、事業継続支援金の復活、県税の減免、融資の返済額の減免の3点の実施が必要と考えますが、知事の見解を伺います。

答 国の事業復活支援金は、事業継続支援金に比べ、対象月が拡大し、支給要件が緩やかで給付額もより手厚いため、事業継続支援金に代わる制度として関係機関等を通じ周知徹底しています。

県税については、納税困難な事業者に対し、納税の猶予制度を活用しています。

県制度資金については、返済が原則であり、追加融資と合わせた借換えなどを通じて経営改善を促しています。また、金融機関に対し、実情に応じた最大限柔軟な支援を行うよう要請しています。引き続き、関係団体と連携し、支援策が行きわたるよう、必要な対策を講じていきます。



猿渡議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
元吉 俊博 議員

土木技術を学ぶ場の確保

問 土木系学科の志願者確保について、少子化が更に進む中でどう取り組むのか、見解を伺います。

答 土木技術を学ぶ場は、県下4校の土木系学科に加え、佐伯豊南高校にも土木コースを設置し、測量等の専門的な学習を行っています。

定員確保に向けては、出前授業等により土木の魅力を発信したり、地元企業の協力の下に体験的な学習を行い、地元の土木建設業に対する理解を深めています。

新たな土木系のコース設置等は、中学生のニーズ等も踏まえた慎重な検討を要します。まずは既存の土木系学科等の学びや魅力が、小中学生や保護者に分かるよう情報提供の工夫に一層努めます。



元吉議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



3月8日(火)
県民クラブ
浦野 英樹 議員

メンタルヘルス・ファーストエイドの取組

問 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築の土台は、精神疾患等に関する普及啓発の推進であると考えます。

答 精神疾患への応急対応法である「メンタルヘルス・ファーストエイド」の考え方を県民に周知し、県下全域で取り組むことが有用だと考えますが、知事の見解を伺います。

不安を抱えていても相談窓口への相談をためらう声もよく聞きます。身近な人がそうした方々に手を差し伸べ、支援につなぐ「メンタルヘルス・ファーストエイド」のスキルを身につけるための研修を実施し、早期支援の裾野を広げます。

今後はさらに、「メンタルヘルス・ファーストエイド」の普及にも取り組むことで、不安や悩みを抱え、生きづらさを感じている方々に寄り添い、支えることができる社会づくりに一層力を尽くします。



浦野議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





自由民主党
よしたけ さとる
吉竹 悟 議員

過疎地域における公共交通の在り方

問 どこに住んでいても最低限の行政サービスが受けられる環境は、移住定住政策の中でも重要な位置付けとなりますが、今後の地域公共交通のあるべき姿をどう考えているのか、知事の見解を伺います。

答 県では、三つの観点から持続可能な地域公共交通の実現に向けた取組を行っています。一つは、コミュニティバスの運行赤字に対する補助など過疎地域の移動手段の維持・確保のための支援です。

二つは、実際に利用する住民が主体的に加わり、地域が自らデザインする地域公共交通ネットワークの構築です。三つは、AIオンデマンドやMaas等の次世代モビリティの活用です。

今後とも、関係機関と連携し、過疎地における移動手段の確保に向けた取組を行ってまいります。



吉竹議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



しんせい大樹会
あらかね のぶお
荒金 信生 議員

県内水産物の販売戦略

問 水産業は燃料高騰等により厳しい状況にありますが、一方で「全国豊かな海づくり大会」の開催決定という明るい話題もあります。大会開催やコロナ禍の巣ごもり消費で、県内外で水産業、水産物に対する関心が高まるこの機に、本県水産物の販売力強化をどう図るのか、知事の見解を伺います。

答 コロナ禍の経験を生かし、コロナ後の需要拡大も見据えた戦略を立てることが重要であり、二本柱で取り組めます。一つは販路拡大で、認定量販店との連携強化、飲食チェーン店の認定制度創設により県外販路の更なる拡大を図ります。

二つは消費拡大で、令和4年度は対面販売の強化のため、県内量販店等の販売員を対象に講座を開設します。また、SNSを活用した情報発信を行います。

全国豊かな海づくり大会に向けた様々な行事も活用しながら、取組を着実に進めてまいります。



荒金議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
いまよし じろう
今吉 次郎 議員

大分県海外戦略

問 コロナ禍により、留学生や技能実習生などがなかなか入国できない状況が続いています。ウィズコロナの考え方の下、外国人の留学や就労環境の改善と民間事業者が海外展開しやすいような支援を進め、世界に選ばれる大分県を実現させることが重要です。そこで、第4期大分県海外戦略ではどのように取り組むのか、知事の見解を伺います。

答 第4期海外戦略では、海外の成長を取り込みつつ、共に発展するという基本理念の下、主に三つの柱で取組を進めていきます。一つは、海外のマーケットや人材、先端技術などの「海外の活力を取り込む」です。二つは、外国人がより一層地域へ溶け込めるよう支援する「多文化共生の推進」です。

三つは、「国際交流の推進」です。変化の激しい国際情勢を注視し、海外に開かれた飛躍する大分県づくりを目指します。



今吉議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
おまた まさみ
太田 正美 議員

観光振興

問 県の今後の観光政策において、インバウンド回復までの補完のためにも、国内旅行への注力が必要ですが、地域間競争が激化し、これまで以上に選ばれる大分県となる取組が求められます。ウィズコロナにおける観光の復活、そして更なる躍進に向け、どう取り組むのか、知事の見解を伺います。

答 観光の新たな魅力への挑戦や安全・安心なおもてなしの推進には、次の四つが大切です。一つは、国内観光の再認識と活性化であり、地域間競争に打ち勝つための誘客の取組と切れ目ない観光需要の喚起を行います。

二つは、多様化する旅行ニーズを捉えた受入環境の整備です。三つは、DXや先端技術の活用です。四つは、インバウンド回復を見据えた対策であり、オンライン商談会等を通じて、引き続き大分の魅力を発信します。



太田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。





県民クラブ
木田 昇 議員

地方回帰と移住政策

問 昨今の急激な社会環境の変化や政府が進めようとする「デジタル田園都市国家構想」等から、地方回帰の潮流をどのように捉え、本県への移住施策を今後どう進めていくのか知事の見解を伺います。

答 コロナ禍がもたらした地方回帰への流れの中、DXなどの波が押し寄せ、地方に居ながら都市の利便性を享受できる生活が身近なものとなってきました。

社会変容を捉え、移住者の声を聞き、更なる移住者増加につなげるため、次の三つに取り組みます。

一つは、仕事の確保であり、ITや保育など、特定分野においてスキル習得から移住・就職まで、ワンストップ支援などを行います。

二つは、移住者のニーズにに応じた住まいの提供のため、物件の探索や取得に向けた所有者との交渉等をサポートします。

三つは、移住者が安心して暮らせるよう、受入れに積極的な地域の育成に取り組みます。



木田議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



自由民主党
井上 伸史 議員

林業の成長産業化

問 将来の世代に豊かな森林をつなげる持続可能な林業を確立するためには、しっかりもつて、これからも林業経営を続けたいと思える環境整備が必要です。今後の林業の成長産業化に向けてどのように取り組んでいくのか知事の見解を伺います。

答 将来を見越した持続可能な循環型林業の確立のために次の取組を進めます。

一つは、人件費の削減と作業の効率化を実現する最新機器の導入等による木材生産力の強化です。

二つは、疎植造林や主伐・再造林の一貫作業の定着促進、造林分野の機械化等による再造林の徹底です。

三つは、給付金制度の拡充による担い手の確保・育成に取り組みます。

また、新たな機材を活用した労働安全の向上と就業環境の改善や、大径材製品の新たな乾燥技術の確立等にも取り組みます。



井上議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
平岩 純子 議員

子どもの居場所づくり

問 居場所がない子どもは、栄養失調など様々な問題を抱えがちです。地域の子どもの居場所を留意し、社会全体で子どもを育てる取組は、児童虐待の防止と地域での見守りにつながります。地域の子どもの居場所づくりにどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺います。

答 県内に88か所ある子ども食堂は、地域住民などが運営しており、食事の提供を始め、学習支援や悩みの相談にも応じる、大切な居場所となっています。

県では、昨年9月にクラウドファンディング「子ども食堂応援プロジェクト」を実施し、多くの寄付が寄せられました。

また、子ども食堂等で朝食を週1回無料提供する先駆的なモデル事業を実施しています。

子どもから高齢者まで参加できる「多世代地域食堂」が毎月開かれ、子ども食堂が多世代交流の場となっている例もあります。



平岩議員のこのほかの質問については、下記から動画をご覧ください。



可決された議案（議員提出）

- 決議（1件）
- ▽ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議
- 意見書（2件）
- ▽「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書 ほか

可決された議案（委員会提出）

- 会議規則（1件）
- ▽大分県議会会議規則の一部改正について
- 条例関係（1件）
- ▽大分県議会委員会条例の一部改正について

可決・同意承認された議案等（知事提出）

- 予算（28件）
- ▽令和4年度大分県一般会計予算
- ▽令和3年度大分県一般会計補正予算
- 条例関係（15件）
- ▽大分県個人情報保護条例等の一部改正について ほか
- 人事（2件）
- ▽監査委員の選任について ほか
- その他（11件）
- ▽県有地の売却について ほか
- 報告（1件）
- ▽令和3年度大分県一般会計補正予算（第12号）について

新たに構成された委員会

常任委員会

本会議から付託された議案や請願の審査を行うとともに、担当する部局に関する事項を調査します。

総務企画委員会



いまし じろう
今吉 次郎
(自由民主党)
中津市



よしたけ さとる
吉竹 悟
(自由民主党)
竹田市



おしろうみ ゆたか
鷲海 豊
(自由民主党)
豊後高田市



はらだ たかし
原田 孝司
(県民クラブ)
別府市



こじま ひでゆき
小嶋 秀行
(県民クラブ)
大分市



とだか けんじ
戸高 賢史
(公明党)
別府市



すえむね ひでお
末宗 秀雄
(志士の会)
宇佐市

福祉保健生活環境委員会



にのみや けんじ
二ノ宮 健治
(県民クラブ)
由布市



ごとう しんたろう
後藤 慎太郎
(自由民主党)
大分市



みうら まさおみ
三浦 正臣
(自由民主党)
日出町



もとよし としひろ
元吉 俊博
(自由民主党)
宇佐市



みたらい よしお
御手洗 吉生
(自由民主党)
佐伯市



はの たけお
羽野 武男
(県民クラブ)
日田市



たまだ てるよし
玉田 輝義
(県民クラブ)
豊後大野市



あらかね のぶお
荒金 信生
(しんせい大樹会)
別府市

商工観光労働企業委員会



いのうえ あきお
井上 明夫
(自由民主党)
日田市



もり せいじ
森 誠一
(自由民主党)
豊後大野市



こてがわ まさはる
古手川 正治
(自由民主党)
津久見市



あべ えいじ
阿部 英仁
(自由民主党)
大分市



きだ のぼる
木田 昇
(県民クラブ)
大分市



ふじた まさみち
藤田 正道
(県民クラブ)
大分市



えんど ひさこ
猿渡 久子
(日本共産党)
別府市

農林水産委員会



おおた まさみ
太田 正美
(自由民主党)
由布市



おおとも えいじ
大友 栄二
(自由民主党)
中津市



いのうえ しんし
井上 伸史
(自由民主党)
日田市



おじま やすひろ
尾島 保彦
(県民クラブ)
宇佐市



ひらいわ じゅんこ
平岩 純子
(県民クラブ)
大分市



かわの せいじ
河野 成司
(公明党)
大分市



つつみ えいぞう
堤 栄三
(日本共産党)
大分市

土木建築委員会



きよた てつや
清田 哲也
(自由民主党)
佐伯市



きつぎ しんじ
木付 親次
(自由民主党)
国東市・姫島村



しま こういち
嶋 幸一
(自由民主党)
別府市



なりさこ けんじ
成迫 健児
(県民クラブ)
佐伯市



うらの ひでき
浦野 英樹
(県民クラブ)
大分市



よしむら あきひこ
吉村 哲彦
(公明党)
大分市



おがわ かつみ
小川 克己
(元気な玖珠都を創る会)
九重町・玖珠町

文教警察委員会



あべ なおひろ
阿部 長夫
(自由民主党)
杵築市



えどう ひろあき
衛藤 博昭
(自由民主党)
大分市



しむら まなぶ
志村 学
(自由民主党)
臼杵市



たかはし はじめ
高橋 肇
(県民クラブ)
臼杵市



もりなが のぶゆき
守永 信幸
(県民クラブ)
大分市



ばば はやし
馬場 林
(県民クラブ)
中津市



あそう えいさく
麻生 栄作
(時の会・県民の声)
大分市

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

令和3年6月に設置された新型コロナウイルス感染症対策特別委員会は、新型コロナウイルス感染症に関する三つの付託事件について調査を行っています。

令和3年度の間接報告として、昨年9月から11月に実施した県民向けのアンケートの調査結果や、医療関係者や中小企業等支援者といった参考人からいただいたご意見をもとに報告書をまとめ、第1回定例会において、委員長が

※中間報告の内容はコチラ→



政策検討協議会

政策提言や県議会の諸課題等について協議・調整を行うことを目的として、令和3年5月に政策検討協議会が設置されました。（設置期間：2年）

1年をかけて様々なテーマについて調査研究を行ない、令和4年3月に議長に中間報告を行いました。

主な内容

○男女が生き生きと暮らせる大分県づくりに向けた政策提言案（概要）

誰もがお互いを尊重しながら自分らしく生きることができる社会、性別にかかわらず能力を十二分に発揮できる社会の構築が求められています。

本協議会では、アンケートの実施や有識者の意見聴取を通じた調査研究を行い、下記内容の政策提言案を策定しました。

- 1 企業認証制度等の効果的な活用
- 2 男女が共に生き生きと働くことができる職場づくり
(1) 働き方改革による職場環境の変革 (2) 均等な機会と待遇の確保
- 3 男性による育児や家事が当たり前となる大分県への取組
(1) 男性の育児休業の取得推進 (2) 男性の家事・育児参画の推進
- 4 アンコンシャス・バイアスの解消に向けた教育・啓発の充実
- 5 理工系分野を目指す女子中高生等への支援

※中間報告の内容はコチラ→



○県議会におけるデジタル化等の推進

議会運営の活性化や効率化に向けて、ICT*を活用した議会デジタル化を進めると共に、コロナ禍における議会運営の安全性と質の確保を図るため、機器整備や運用体制の構築に向けた議論を行ないました。

これらの議論を踏まえ、委員会室等の感染防止対策と音響改善に向けた機器整備や、リモート会議環境に必要な整備を行なっています。

また、会議のペーパーレス化等を図るため、全議員へのタブレット端末配備、議会棟の無線LAN環境整備等について引き続き議論を進めていくこととしています。

*ICT：「Information and Communication Technology」の略称。「情報通信技術」のこと。

議員定数調査会

大分県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数について、どうあるべきかを調査・検討するために、各会派から推薦された委員15名により、令和2年11月から令和4年3月まで設置されました。

同調査会において、慎重に検討審議を行った結果、現行維持とするという結論に至り、調査結果を令和4年3月に議長に報告しました。

※報告の内容はコチラ→



議員 フォーカス 第4回

県民の皆さまに県議会議員の「人となり」を知っていただき、議会を身近に感じていただくこと、趣味等を紹介するコーナーです。第4回は7名の議員を紹介します。



馬場林 ばば はやし
県民クラブ 中津市
最近ハマっていること 最近、朝のテレビ体操（10分間）をつれあいと2人で続けています。
趣味 読書、映画鑑賞、スポーツ観戦

成迫健児 なり けんじ
県民クラブ 佐伯市
最近ハマっていること 最近はお孫子との魚釣りにハマっています。釣り人や地域の方との交流も楽しみの一つになっています。
特技 三男坊が産まれたことで、主夫業に務めています。料理などは選手時代の自炊の経験が活かされています。

平岩純子 ひら いわ じゅんこ
県民クラブ 大分市
趣味 ガーデニング。今年の庭のカラーは白、ブルー、紫、ピンク、グリーンです。
最近ハマっていること 深夜のミステリー番組にはハマっていますが、眠ってしまい、犯人が分からず残念です。

野武男 の たけお
県民クラブ 日田市
好きな音楽 松任谷（荒井）由美ほか。やはり青春時代の曲が心に残っています。
休日の過ごし方 庭いじり。更地から庭造りをしましたが、草取りに追われています。



県議会 おおい

今号の表紙の題字を作成していただいた

へつぎ もも か
中津北高校 戸次 李歌さん
の所属する書道部の皆さんの部活動の様子をご紹介します！



原田孝司 はら たかし
県民クラブ 別府市
休日の過ごし方 布団・シーツの洗濯、掃除、靴磨きの後、愛犬と遊んでいます。
趣味 大河ドラマは欠かさず観ます。マイベストは龍馬伝、平清盛、真田丸

二ノ宮健治 にのみや けんじ
県民クラブ 由布市
私のモットー 農村を元気にしたいとの思いが強く、「農村・農業の専門バカ」に徹しています。
趣味 「人生の楽園」・「新日本風土記」などの自然派番組鑑賞とハーモニカを少々

藤田正道 ふじ たまさみち
県民クラブ 大分市
最近ハマっていること 「ぬか漬け」玄米を精米した米ぬかで自作し、県産焼酎と楽しんでます。
尊敬する歴史上の人物 「藤田 茂吉」慶應義塾で福澤に学び、郵便報知主筆、衆議院議員等歴任。佐伯市出身。

《政策勉強会》

県議会では、地方議会が有する監視機能と政策立案機能をより一層発揮するため、政策勉強会を開催しています。

令和4年2月の政策勉強会では、日本政策投資銀行大分事務所の所長代理で、大分県の行財政改革推進委員会やツーリズム戦略推進会議の委員としてもご活躍されている佐野真紀子氏を講師にお招きし、「調査活動からみた大分」と題し、ご講演をいただきました。



《議員出前講座》

県議会では、県内の小中高校や大学に向き、議員が講師となつて、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを説明する議員出前講座を行っています。

令和4年2月に津久見市の第一中学校と杵築市の八坂小学校に議員が訪問し、講座を開催しました。



《議会ロビーでの展示》

◇みんなでつくる展覧会
(2月24日～3月13日)

県内の特別支援学校と高校の生徒が制作した作品を展示する展覧会を、教育庁文化課が開催しました。

大分支援学校と大分鶴崎高校の書道部が共同制作した作品や、県内の特別支援学校と中津北高校書道部が共同制作した作品などが展示されました。



《県議会今後の動き》

令和4年第2回定例会の日程(予定)

6月14日(火) 開会

20日(月) ～ 22日(水) 本会議(一般質問)

23日(木) ～ 24日(金) 常任委員会

29日(水) 閉会

議会を傍聴される皆様へ

傍聴をご希望の方は、日程を確認のうえ、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までお越しください。先着順で傍聴券を交付します。



新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

- 発熱やせき等で体調がすぐれない場合は、入場をご遠慮ください。
- 備え付けのアルコール消毒器にて手指を消毒してからご入場ください。
- マスクの着用をお願いします。



- ★県議会のホームページで本会議の中継・録画をご覧になれます。左のQRコードからホームページにアクセスのうえご覧ください。
- ★大分ケーブルテレコム・大分ケーブルネットワーク・CTBメディア・KCVCコミュニケーションズでは本会議の中継を行っています。放送時間は各局へご確認ください。

県議会ホームページでは

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

◇お問い合わせは県議会事務局まで

- 【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
- 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
- 【政策調査課】 調査業務、議会広報など TEL 097-506-5035

広報誌「県議会おおいた」は、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場などに配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成・配付しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。